

# 平成23年度事業報告

(平成23年4月1日から平成23年5月31日まで)

## 実施事業の概要

当財団は、横浜市の文化財行政と密接な連携を図りつつ、歴史資料及び文化財の保存・調査・研究・活用に関する各種の事業を実施し、さまざまな事業改善を行ってきました。

23年度4、5月期においても指定管理提案書ならびに事業計画書にもとづき確実に事業を実施してきました。

6月1日に公益財団法人に移行したのを機に、財団挙げて新たな気持ちで、より多くの市民に親しんでいただける活動を展開して参ります。

## 実施した事業

### 法人事業

- 1 財団本部事業

### 公益事業

- 1 埋蔵文化財センター事業
- 2 市史資料室事業
- 3 史跡等保存事業
- 4 歴史博物館事業
- 5 開港資料館事業
- 6 都市発展記念館事業
- 7 ユーラシア文化館事業
- 8 三殿台考古館事業

### 収益事業

- 1 歴史博物館収益事業
- 2 開港資料館収益事業
- 3 都市発展記念館・ユーラシア文化館収益事業

# 法 人 事 業

## **1 財団本部事業**

主な事業として、公益財団登記申請、第1回理事会・評議員会の準備を行いました。

- (1) 財団管理施設の事業調整
- (2) 財団事業自主評価・改善システムの実施
- (3) 職員研修の実施
- (4) 理事会・評議員会の開催
- (5) 職員の人事労務・福利厚生管理
- (6) 共同広報の実施     メルマガ「よこはま歴史かわら版」の配信など
- (7) 財団施設案内の作成（1,000部作成）
- (8) その他本部事務

# 公益事業

## 1 埋蔵文化財センター事業

港北ニュータウン開発に伴う出土品・遺構測量図等の記録資料の整理、写真資料等のデジタル化・出土品保管状況の改善事業を実施しました。

文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の発掘調査及び発掘調査の成果を整理し、報告書を刊行する業務を行いました。

	事業区分	事業内容
1	埋蔵文化財整備事業	<p>(1) 遺物整理・調査研究</p> <p>① 大原遺跡整理報告作業 遺構・遺物の原稿執筆、資料分析、遺物写真の撮影(85カット)を実施。</p> <p>② 加賀原遺跡整理報告作業 石器の実測(29点)・デジタルトレース(64点)を実施。</p> <p>③ 権田原遺跡基礎整理作業 出土遺物(土器)の接合復原(90個体)及び実測(102個体)を実施。</p> <p>④ 港北ニュータウン内遺跡の記録類検討・整理作業 道中坂上遺跡の遺構の検討と挿図作成・原稿執筆を実施。</p> <p>(2) 資料保管・整理</p> <p>① 記録類資料デジタル化 写真フィルムのスキャン(1,145カット)を実施。またスキャン済みの遺構図面を画像処理(7,844ファイル)し、資料のデジタル化を実施。</p> <p>② 出土品保管再整備 —</p> <p>③ 図書の受入れ・整備 H22年度受領図書の一覧を作成(約1,300冊)。</p> <p>④ 緊急雇用創出事業 委託契約を締結し、臨時職員を募集。 平台貝塚出土の自然遺物の水洗・選別作業を実施(5/27～)。</p> <p>⑤ 資料の搬入 三殿台考古館から収蔵資料を搬入。</p>
2	普及啓発事業	<p>① 埋蔵文化財周知事業 展示資料の検討、写真資料の借用手続き。</p> <p>② 「横浜の遺跡展」 実施計画案作成</p> <p>③ 考古学講座 実施計画案作成</p> <p>④ 体験学習 「本郷地区センターまつり」に参加。また、野七里地域ケアプラザ(参加者:25名)で体験学習を開催。</p>

		⑤広報誌等の発行 年間計画作成
3	発掘調査事業	—
4	施設連携事業	①横浜市歴史博物館「特別展 大昔のムラを掘る—三殿台遺跡発掘50年—」を共催（開催期間:4月9日～5月29日）(入館者数:23,176人)

## 2 市史資料室事業

横浜市総務局が所管する横浜市史資料室の所蔵資料の保存活用事業について、引き続き、資料収集・整理・保存、資料公開、普及啓発業務を行いました。

項目	点数	事業内容
資料の寄贈・寄託	寄贈 2件 4点	写真等の寄贈を受けた。(注1)
図書・刊行物	139点	図書(約64冊)・行政刊行物(約75冊)の収集・整理を行った。
資料の移管	1件 9点	移管資料:総務局総務課の歴史的公文書(写真アルバム)の移管を受けた。
資料のマイクロ化等	マイクロフィルム 19,425コマ	資料をマイクロフィルム撮影(横浜市法制課予算にて執行)するための前整理、準備を行った。
資料整理		受け入れた資料の整理を行い、目録を作成するとともに、一部の資料については、公開に向けて再整理を行った。
資料保存		中性紙封筒への封入及び再整理資料の中性紙封筒への入れ替えを行った。
資料公開		資料閲覧・複写・レファレンス等を行った。
資料貸出	貸出件数 23件	出版物掲載(2件)、放映等利用(10件)、展示出陳(7件)、その他授業で使用、HP掲載など(4件)のために写真、パネル及び資料の貸出を行った。(計23件)

### 利用状況

項目	4、5月
展示見学者(人)(注1)	1,489
入室者数(人)	138
資料閲覧室利用者数(人)(注2)	25
複写申込件数(件)	57
レファレンス件数(注3)	25
電話レファレンス件数(注4)	63

(注1) 市史資料室内展示コーナーの見学者数

(注2) 資料閲覧室は、一次資料専用の閲覧室であり、開架資料の閲覧室とは別室

(注3) レファレンス件数は、来室者からレファレンスを受け付けた件数

(注4) メールレファレンス含む

### 3 史跡等保存事業

#### 1 八聖殿郷土資料館事業

項目	事業内容
施設の維持・管理	昭和8年建造の施設を維持・管理し、安全な市民利用を図った。
常設展示の保存活用	市内旧農漁村で使用されていた農具・漁具・民具類及び八聖人像等を展示した。 来館者には、希望に応じて展示案内を行った。 来館者数：1,336人 観覧料：無料
情報発信	ホームページ等により、八聖殿郷土資料館の展示等の情報を発信した。また、リーフレットや、ポスターによる施設PRを行った。
普及事業の実施	収蔵資料や地域の歴史を普及するための事業として歴史講座を開催した。 *連続歴史講座 毎月第3土曜日 参加料：無料 参加者合計：79人 4/16 39人 5/21 40人

#### 2 史跡保存事業

管理対象施設等	事業内容・所在地など
国指定史跡称名寺境内	史跡の維持管理 所在地：金沢区金沢町
県指定史跡稲荷前古墳群	史跡の維持管理 所在地：青葉区大場町
県指定史跡市ヶ尾横穴古墳群	史跡の維持管理 所在地：青葉区市ヶ尾町
上行寺東遺跡復元整備地	史跡の維持管理 所在地：金沢区六浦二丁目

## 4 歴史博物館事業

特別展「大昔のムラを掘る」を開催。ゴールデンウィークを中心として、親子向けフロアレクチャーや遺跡公園フェスタなどを実施しました。また、社会科見学での来館小学校のために月曜臨時開館を4日間行い、来館ニーズに応えました。その他引き続き、資料収集・整理・保存、資料公開、普及啓発事業、施設維持業務を行いました。

	事業区分	事業内容
1	学校連携・市民協働事業	<p>○4月期遺跡公園ガイドボランティア活動実績 活動延日数29日 活動総回数251回 解説総人数8,493人 1日平均活動回数8.66回 団体対応数88団体内学校対応87校</p> <p>○5月期遺跡公園ガイドボランティア活動実績 活動延日数27日 活動総回数215回 解説総人数7,492人 1日平均活動回数7.96回 団体対応数84団体内学校対応82校</p> <p>○4月期事業支援ボランティア 社会科見学対応火起こし疑似体験 活動延日数16日 活動人数延126人 ラストサタデープログラム(火起こし体験)4/30 活動参加延14人</p> <p>○5月期活動支援ボランティア 社会科見学対応火起こし疑似体験 活動延日数15日 活動人数延126人 遺跡公園フェスタ(火起こし体験・弓矢体験) 5月4日 活動人数延27人 ラストサタデープログラム(火起こし体験・弓矢体験) 5月28日 活動参加延10人</p> <p>○特別展「大昔のムラを掘る」アンケート調査実施</p>
2	収益向上・経費節減事業	
3	常設展示運営事業	<p>○メンテナンス ・月2回、月曜日に常設展示資料清掃：委託し、実施 ・保守点検 地震・計画停電により延期していた平成22年度第4回保守点検を4月4日に実施した。</p> <p>○学芸員による常設展示解説 ・4月30日 原始Ⅰ 参加者31人 ・5月28日 原始Ⅱ 参加者30人</p>
4	企画展示運営事業	<p>○特別展「大昔のムラを掘る」 ・4月9日開会 会期は5月29日まで ・フロアーレクチャー(展示解説) 4月24日 17人、5月22日 40人</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子向フロアレクチャー <ul style="list-style-type: none"> <li>4月29日 14人、 5月1日 17人</li> <li>5月3日 19人、 5月4日 51人</li> <li>5月5日 17人、 5月7日 11人</li> <li>5月8日 11人</li> </ul> </li> <li>・遺跡散歩 <ul style="list-style-type: none"> <li>4月21日 「三殿台遺跡周辺を歩く」 参加者24人</li> </ul> </li> <li>・バスツアー <ul style="list-style-type: none"> <li>5月19日 「国史跡登呂遺跡と登呂博物館を訪ねて」 参加者39人</li> </ul> </li> <li>○企画展検討会の開催: <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 4月20日</li> <li>&lt;議題&gt; 企画展「風景を持ち帰る、風景を伝える、絵はがきあれこれ」の構成案について</li> <li>第2回 5月18日</li> <li>&lt;議題&gt; 企画展「風景を持ち帰る、風景を伝える、絵はがきあれこれ」の構成案について、企画展「ウズマキかわらけの謎を解く」の報告案について</li> </ul> </li> </ul>
5	資料収集・保存・公開事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の収集 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 資料の寄贈・寄託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月19日 第1回資料収集検討小委員会を開催</li> <li style="padding-left: 40px;">寄贈資料1件235点の受入を検討・決定</li> <li>・5月13日 価格評価委員会</li> <li style="padding-left: 40px;">4月19日の第1回資料収集検討小委員会において、受入を決定した寄贈資料1件について、価格評価を実施した。</li> </ul> </li> <li>2) 複製製作: 製作準備、仕様調整</li> <li>3) マイクロ撮影: 開港・都市発と一括入札終了、契約済み : 萩原家文書の撮影</li> </ul> </li> <li>○資料の修繕: 赤羽刀の刀1振の研磨準備 佐久間象山資料の修繕検討中</li> <li>○資料の保存 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境検査: 40～50日に1回、年8回程度の検査を関東港業で実施 第1回: 5月12日実施</li> <li>・空気環境測定: キョーエーヨコハマで実施 第1回: 4月20日実施、問題無し</li> <li>・余震の恐れが少なくなってきたことをふまえて、3月11日地震における考古収蔵庫の被害状況を確認、50点超の土器等破損することを確認。補修対応等について検討中</li> </ul> </li> <li>○資料整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・考古、歴史、民俗の各分野でアルバイトを雇用し、収蔵資料を整理。</li> </ul> </li> <li>○資料の活用・公開</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物資料の貸出 金沢文庫企画展「大横須賀と金沢」(6月9日～7月31日)へ「久良岐郡寺前村乙鱸浜固場絵図面」を5月25日に貸出</li> <li>・実物資料の熟覧 5月17日に飛田良文氏、佐久間象山著「贈訂阿蘭語彙」の熟覧(1件1点)</li> <li>・画像資料の貸出 館外貸出 利用料徴収6件17点 利用料34000円、媒体費10000円</li> </ul>
6	調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的調査研究1 3テーマ研究の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 縄文時代後期の漁具の研究</li> <li>(b) 佐久間象山資料の研究</li> <li>(c) 横浜市所蔵街頭紙芝居の研究</li> </ul> </li> <li>○基礎的調査研究2 2テーマ研究の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 埴輪の生産体制と地域社会の研究</li> <li>(b) 久良岐郡蒔田郷の吉良氏・蒔田氏の研究</li> </ul> </li> <li>○市民協働の調査研究 1テーマ研究の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 市民協働民俗調査</li> </ul> </li> </ul>
7	出版・刊行事業	○特別展「大昔のムラを掘る」図録の刊行(A4版、80頁)
8	普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふるさと横浜探検1 よこはま事始め「山手・根岸・本牧の開港期の史跡を訪ねて」 4月28日 参加者 33人</li> <li>○ふるさと横浜探検2 「国史跡静岡県登呂遺跡と登呂博物館を訪ねて」 5月19日 参加者39人 *特別展「大昔のムラを掘る」と共同行事</li> <li>○体験学習1 大むかしの土器を作ろう 4月16日・17日 参加者 66人 *特別展「大昔のムラを掘る」と共同行事 横浜縄文土器作りの会協力</li> <li>○体験学習2 勾玉作り 5月21日・22日 参加者 64人</li> </ul>
9	広報宣伝活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○財団メルマガ 4/28第35号配信、5/26第36号配信</li> <li>○メディア掲載4月期 9件、5月期 5件</li> <li>○ばど有料折込北・南エリア6500部配布(フェスタチラシ)</li> <li>○歴博ホームページにキッズページアップ(4月14日)</li> </ul>
10	利用者へのサービス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月期ミュージアムショップ運営 店頭総売上503,266円 客数397人 客単価1,267円</li> <li>○5月期ミュージアムショップ運営 店頭総売上792,782円 客数630人 客単価1,258円</li> </ul>
11	利用者促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ラストサタデープログラム4月30日 火起こし体験 参加178人</li> <li>○第10回「国際博物館の日」企画:大塚・歳勝土遺跡公園開園15周年・三殿台遺跡発掘50周年記念フェスタ 5月4日 1,202人 (火起こし体験 434人,古代米一口体験 211人)</li> </ul>

		人,古代狩体験 309 人,野焼き見学 248 人)、神奈川新聞・東京新聞取材、両紙とも 5 月 5 日に記事掲載 ○ラストサタデープログラム5月28日 火起こし体験参加163人、弓矢体験参加145人
12	その他促進事業	○施設有料貸出 4月 研修室12件、5月 講堂2件 研修室8件 ○月曜臨時開館実施 4月11、18、25日、5月9日 ○職場体験 中川西中学校 5月19・20 8名 ○学芸員実習Aコース 5月28日 ガイダンス 13名
13	その他（施設修繕など）	○屋上照明カバー3か所補修 4月7日 ○ウォシュレット設置 4月18、25日 ○消防進入口隙間修理完了 4月21日 ○3F防火戸煙感知器交換 5月30日

#### 常設展示室観覧者の推移

	有料観覧者（人）				無料観覧者 （人）	合計 （人）
	大人	高大	小中	計		
4月	934	46	3,507	4,487	12,767	17,251
5月	1,541	182	2,745	4,468	9,168	13,636

#### 企画展示室観覧者の推移

	有料観覧者（人）				無料観覧者 （人）	合計 （人）
	大人	高大	小中	計		
4月	479	25	204	708	11,699	12,407
5月	1,036	94	744	1,874	8,895	10,769

#### 小・中学校団体利用の推移

項 目	4月	5月
学 校 数 (校)	154	113
児 童 ・ 生 徒 数 (人)	15,585	11,189

#### 横浜市歴史博物館野外施設入場者の推移

項 目	4月	5月	
横浜市歴史博物館野外施設（人）	11,262	11,256	
内 訳	大塚遺跡（人）	10,884	10,277
	工 房（人）	378	979

## 5 開港資料館事業

平成22年度第4回企画展示「痛っ 歯が痛いー歯科医学の誕生と横浜」、平成23年度第1回企画展示「たまくすの木が見た横浜の157年ーペリー来航から開港資料館まで」を開催。中庭展示パネルの設置等「開館30周年記念行事」の準備を行いました。

	事業区分	事業内容
1	学校連携・市民協働事業	・郷土史団体連絡協議会との協働事業（研修会・役員会など 4/16大会、5/25研修会）
2	収益向上・経費節減事業	・機械警備、エレベータ保守業務契約の複数年契約を実施し、委託料の縮減を図った。
3	常設展示運営事業	・常設展示第1室・第2室の運営 ・新収集資料コーナー展示 「スイス人商人が見た幕末・維新の日本と横浜」（29回 4/1～5/10） 「明治横浜アイスクリーム事情」（30回 5/11～5/31）
4	企画展示運営事業	・平成22年度第4回企画展示「痛っ 歯が痛いー歯科医学の誕生と横浜」（2/2～4/24） ・平成23年度第1回企画展示「たまくすの木が見た横浜の157年ーペリー来航から開港資料館まで」（4/27～7/24）
5	資料収集・保存・公開事業	（1）収集 ・類似機関、個人等からの寄贈史料・図書・雑誌類を受け入れたほか、図書・雑誌を購入した。 4月 ア 寄贈 資料0件、雑誌198冊、新聞0冊、図書42冊 イ 購入 資料0件、雑誌4冊、新聞0冊、図書0冊 5月 ア 寄贈 資料1件、雑誌87冊、新聞0冊、図書46冊 イ 購入 資料7件、雑誌0冊、新聞0冊、図書1冊 （2）資料貸出 ・横浜みなと博物館企画展示「横浜港を結ぶ交通」に資料を出陳した（貸出期間：2/9～4/13） ・横浜市歴史博物館企画展示「大昔のムラを掘る」に資料を出陳した（展示期間：4/9～5/29）
6	調査研究事業	・調査研究員の調査研究業務は順調におこなっている。
7	出版・刊行事業	・ミュージアムショップで所蔵品の複製を販売した。
8	普及啓発事業	・閲覧室において所蔵資料を閲覧に供すると共に利用案内を行った。 （4月 利用者数：162人・複製人数：80人、枚数：1401枚 内カラー：55枚、モノカラー：1346枚）

		(5月 利用者数：226人、複製人数：100人、枚数：1870枚 内カラー：59枚、モノカラー：1811枚) ・出版物、TV番組などに複製資料を提供した(33件、87点)
9	広報宣伝活動事業	・企画展示の広報を継続して行った ・中区広報紙に連載記事「中区歴史の散歩道」を執筆した ・HPの追加更新をおこなった アクセス件数 4月 10,323件、5月 12,004件 ページビュー 4月 45,006件、5月 54,084件
10	利用者へのサービス事業	・特になし
11	利用者促進事業	・小学校学校団体受入授業の試行
12	その他促進事業	・特になし
13	その他(施設修繕など)	・喫茶室修繕、非常灯修繕等打合せ

#### 展示室観覧者の推移

	有料入館者(人)				無料入館者 (人)	合計 (人)
	大人	小中	閲覧室	計		
4月	2,131	270	70	2,471	922	3,393
5月	4,439	1,387	87	5,913	1,545	7,458

## 6 都市発展記念館事業

企画展「東京－神戸・昭和の東海道～「六大都市」をめぐる。」を開催（4月16日～）、ゴールデンウィークを中心に展示解説・上映会を実施しました。

脚本家小山内美江子氏から鶴見空襲で焼け残った金庫の内箱の寄贈を受け、新聞各紙で紹介されました。

	事業区分	事業内容
1	学校連携・市民協働事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校見学対応</li> <li>・学校団体の来館 4月 6校(市内1校、市外5校) 5月 25校(市内3校、市外22校)</li> <li>・日本大通り活性化委員会定例会（4月13日、5月19日）</li> <li>・今年度学芸員実習の内容検討。希望者4名に受入決定通知送付</li> <li>・学校団体誘致策として、市内小4を対象に解説付き団体受入方法を検討</li> </ul>
2	収益向上・経費節減事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な光熱水費の節減努力</li> <li>・館内、展示室内の節電対策の実施</li> </ul>
3	常設展示運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示の管理運営（常時）</li> <li>・都市発展百科コーナーに「絵葉書データベース」のプリントファイルを設置中（自由閲覧）。</li> <li>・下水道マンホール付近の調光器の修繕完了。</li> <li>・コーナー展「わたしのモダン横濱」（～4月22日）</li> <li>・コーナー展「赤レンガ倉庫の100年」（4月23日～）</li> <li>・コーナー展「広瀬写真展」「関外と伊勢佐木の発展～吉田新田その後～」の企画検討</li> </ul>
4	企画展示運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「東京－神戸・昭和の東海道～「六大都市」をめぐる。」準備・設営および開催（4月16日～）</li> <li>・展示解説および上映会（4月30日15名、5月1日15名、5月3日25名、5月4日35名）</li> <li>・開港資料館との事業調整会議（4月20日）</li> </ul>
5	資料収集・保存・公開事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の寄贈・寄託の受付（常時） 小山内美江子氏より鶴見空襲で焼け残った金庫の内箱を受贈。</li> <li>・資料の選定および購入（常時）</li> <li>・当館所蔵文書群の概要リスト作成作業</li> <li>・環境調査</li> <li>*主な購入資料：杉田三太郎画稿</li> <li>・「横浜歴史情報マップ」「横浜絵葉書データベース」「WEB写真</li> </ul>

		<p>アルバム 『横浜グラフ』」ホームページ上で公開中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜絵葉書データベースのデザイン変更</li> <li>・炭酸ガスによる資料燻蒸実施（ユーラシア文化館と共同実施）</li> </ul>
6	調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「近代遺跡調査」 キリンビール工場跡地（中区千代崎町1）から発見された遺構の確認（文化財係同行）および遺物採集 旧露亜銀行横浜支店（市指定文化財）の改修工事ともなう遺物の確認および採集、神奈川区のジェラルル瓦所蔵者宅の調査</li> <li>・「昭和初期横浜のモダン都市文化の調査研究」 横浜歴史情報マップのための調査・解説執筆。</li> <li>・「市電写真に関する調査研究」 紙焼き写真の検証およびデジタル化作業</li> </ul>
7	出版・刊行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市横浜・歴史ビジュアル」シリーズの刊行 第1巻『「地図」で探る横浜の鉄道』</li> <li>・企画展「東京－神戸・昭和の東海道」図版ダイジェストの発行</li> <li>・DVD「映像でたどる昭和の横浜」シリーズ再版 第1巻「港とまちづくり」、第2巻「都市の交通」</li> </ul>
8	普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス対応およびインタビュー出演（テレビ東京「空から日本を見てみよう」5月19日放送）</li> <li>・市文化観光局と映画「コクリコ坂より」関連事業のガイドマップ製作に関して協議</li> <li>・市環境創造局と横浜公園内設置予定パネルに関して協議</li> <li>・原稿執筆：広報よこはま中区版5月号「なか区・歴史の散歩道」</li> </ul>
9	広報宣伝活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの情報更新（常時）</li> <li>・横浜都市発展記念館メールニュース 号外</li> <li>・ブログ「ハマ発Blog」での情報発信を継続。</li> <li>・リクルートじゃらんネット、JR西日本おでかけネット、JR東日本旅どきnet、Yahoo!japan地域情報。</li> <li>・小山内美江子氏の資料寄贈について朝日新聞、毎日新聞に掲載。</li> <li>・コーナー展「わたしのモダン横濱」情報掲載。横浜ケーブルビジョン、ヨコハマアートナビ、Dokka!おでかけ探検隊、広報よこはま、日本経済新聞マンスリーミュージアムガイド</li> <li>・企画展「東京－神戸・昭和の東海道」関係 広報印刷物の全国発送。横浜高速鉄道による広報協力。広告掲示（JR東日本、毎日新聞）。取材対応等（ラジオ日本、読売新聞、神奈川新聞、朝日新聞、日経新聞、東京人）。季刊誌横濱。</li> <li>・テレビ東京「空から日本を見てみよう」（5月19日放送）</li> </ul>
10	利用者へのサービス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室、電話等でのレファレンス対応（常時）</li> <li>・ミュージアムショップの運営（常時）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当館刊行物、DVDの通信販売（常時）</li> <li>・図書コーナー維持管理（常時）</li> <li>・複製資料の提供（4月 商業利用1件、有料1件、無料1件、5月 有料2件、無料3件）</li> </ul>
11	利用者促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲料自動販売機と図書（休憩）コーナーの維持管理（常時）</li> <li>・「ミュージアム・クイズラリーよこはま2011」第1回会合出席</li> </ul>
12	その他促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新橋横浜間及国府津間汽車時刻表」ほか資料計3点を横浜みなど博物館展覧会「横浜港を結ぶ交通」に提供</li> <li>・都発あり方検討会議</li> <li>・開港／市史／都発の昭和期資料担当者による三施設会議</li> <li>・3施設連携シリーズ講座「モダン都市横浜を探る」（仮称）の内容について協議</li> </ul>
13	その他（施設修繕など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築局へ修繕関連予算調書提出（外壁剥離、4F階段室雨漏り）</li> <li>・新聞博物館皇室来館対応への協力</li> </ul>

#### 常設展示観覧者の推移

	有料入館者（人）			無料入館者（人）	合計（人）
	大人	小中	計		
4月	366	6	372	285	657
5月	1,010	138	1,148	398	1,546

#### 企画展示室観覧者の推移

	有料入館者（人）	無料入館者（人）	合計（人）
4月	262	229	491
5月	946	383	1,329

## 7 ユーラシア文化館事業

7月から開催する企画展「フィリピンの文化と交易の時代」開催準備を実施しました。夏休みにふさわしい親子で楽しめる企画とするため、イベントの企画、市内関連団体との協力調整などを行いました。

	事業区分	事業内容
1	学校連携・市民協働事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校団体の来館 4月 3校(市外)、5月 19校(市内3校、市外16校)</li> <li>・日本大通り活性化委員会定例会(4月13日、5月19日)</li> <li>・市内フィリピン関連打合せ・情報収集(横浜マニラ友好協会 4/13, 国際政策室4/26, こたりの会 4/28, フィリピン大使館5/12, あーすぷらざ5/13, 国際政策室5/19)</li> <li>・学校団体誘致策として、市内小3を対象に解説付き団体受入方法を検討</li> </ul>
2	収益向上・経費節減事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な光熱水費の節減努力</li> <li>・館内、展示室内の節電対策の実施</li> </ul>
3	常設展示運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示運営</li> <li>・予約制ギャラリートーク実施</li> <li>・優待カードの販売を継続</li> </ul>
4	企画展示運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H23年度企画展「古代エジプトのファイアンス(仮称)」の準備。資料熟覧(東京大学 4/18)、監修者との打合せ(4/19、5/17、31)</li> <li>・H23年度企画展「フィリピンの文化と交易の時代」の準備。資料調査(個人宅4/11、18、5/2、16、30、市史資料室4/21、フィリピン観光省5/12)。係会議(4/12、21)および運営会議(4/14、28、5/11、25)で概要等検討。</li> </ul>
5	資料収集・保存・公開事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵資料台帳の整理継続</li> <li>・蔵書のオンライン検索(OPAC)システムを継続</li> <li>・全国漢籍データベース公開継続</li> <li>・環境調査継続</li> <li>・資料熟覧利用(1件)</li> </ul>
6	調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館蔵ファイアンス資料の調査を開始。</li> <li>・楔形文字粘土板文書の整理を開始</li> <li>・市内にあるユーラシア関連資料調査を継続</li> <li>・デジタルアーカイブ構築に向けて、データベースソフトの検討</li> </ul>
7	出版・刊行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種企画展図録の販売を継続</li> <li>・広報誌「News from EurAsia」第14号配布継続</li> </ul>
8	普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員実習の実施</li> </ul>

9	広報宣伝活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット情報配信（Yahoo!地域情報、リクルートじゃらんネット、JR西日本おでかけネット、JR東日本旅どきネット、インターネットミュージアム、おけいこでびゅー.net ヨコハマアートナビ、お出かけ探検隊、小学館HP 他）</li> <li>東急電鉄とくらく（文字情報）</li> <li>神奈川新聞ミュージアムナビ、・ヨコハマ・アートナビ</li> <li>関東レク情報</li> </ul>
10	利用者へのサービス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ショップ運営。フランス月間のためにショップレイアウト変更。</li> <li>ショップ会議（5/13）フランス月間のための商品選択。</li> </ul>
11	利用者促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元事業者との連携広報（中華街、ありあけ、旅行代理店）継続</li> <li>飲料自動販売機と図書（休憩）コーナーの維持管理（常時）</li> </ul>
12	その他（施設修繕など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築局へ修繕関連予算調書提出（外壁剥離、4F階段室雨漏り）</li> <li>新聞博物館皇室来館対応への協力</li> </ul>

常設展示観覧者の推移

	有料入館者（人）			無料入館者（人）	合計（人）
	大人	小中	計		
4月	330	12	342	287	629
5月	1,162	96	1,258	397	1,655

## 8 三殿台考古館事業

4月1日に展示室のリニューアルオープンを行いました。また、磯子区内の市民利用施設で協働したスタンプラリーとそれに連動した勾玉づくり教室という新規事業を開催しました。

	事業区分	事業内容
1	学校連携・市民協働事業	<p>学校連携事業</p> <p>①小学校6年生の歴史の授業に伴って、市内小学校を中心に遺跡見学が行われた。</p> <p>市民協働事業</p> <p>①遺物整理ボランティアによる三殿台遺跡の出土遺物整理を行った。出土遺物の水洗、注記、収蔵庫の整理を行った。</p> <p>②遺跡ガイドボランティアによる遺跡ガイドを土日を中心に実施した。</p> <p>4月 延べ6人が活動し、138人をガイドした。</p> <p>5月 延べ7人が活動し、115人をガイドした。</p>
2	収益向上・経費節減事業	<p>①缶バッジ・土器片ペンダントを販売した。</p> <p>発掘50周年記念の缶バッジセット・第7・8弾を販売した。</p> <p>缶バッジ(@100) 4月 75個 売上7,500円、5月 103個 売上10,300円</p> <p>土器片ペンダント(@700) 4月 1個 売上700円</p>
3	常設展示運営事業	<p>①常設展示室内・遺跡の解説を行った。</p> <p>参加者 4月 1,729人、5月 540人</p>
4	企画展示運営事業	<p>常設展示更新のための資料調査</p> <p>展示候補の遺物を検討した。土器を復元、補修した。</p>
5	資料収集・保存・公開事業	<p>①寄贈された図書を整理分類し受け入れを行った。</p> <p>②古い図書類を整理し、新たに分類・収納した。</p> <p>③三殿台遺跡及び周辺地域の出土品を除く保管資料の埋蔵文化財センターへの移管作業に着手。</p>
6	調査研究事業	<p>三殿台遺跡の出土遺物整理作業を行った。</p> <p>①出土遺物の水洗、注記、遺物の補修、収蔵庫の整理を行った。</p>
7	出版・刊行事業	パンフレット作成を検討中
8	普及啓発事業	<p>横浜市歴史博物館「特別展 大昔のムラを掘るー三殿台遺跡発掘50年ー」を共催(4月9日～5月29日)</p> <p>体験教室を開催した</p> <p>こどもの日勾玉作り教室(@300) 24人 売上げ7,200円</p> <p>「いそっぴGWスタンプラリー」に参加した(4月29日～5月8日)</p>
9	広報宣伝活動事業	<p>民間への情報提供3件</p> <p>年間及び上半期のイベントチラシを作成した。</p>

10	利用者へのサービス事業	<p>遺跡ガイドボランティアによる遺跡ガイドを土日を中心に実施した。</p> <p>4月 延べ6人が活動し、138人をガイドした。</p> <p>5月 延べ7人が活動し、115人をガイドした。</p> <p>利用者の約1割にあたる「ゆず」ファンのために、ゆずマップとサインコピーを作成し配布した。</p> <p>飲料自販機販売実績： 4月 3,172円(3月分売上の20%)、 5月 3,416円(4月分売上の20%)</p>
11	利用者促進事業	<p>火起こし・勾玉作りの体験教室を常時受付。</p> <p>火起こし体験(@100) 4月 10人 売上1,000円、5月 30人 売上3,000円 勾玉作り体験(@300) 5月 13人 売上3,900円</p>
12	その他（施設修繕など）	<p>復元住居屋根の修繕</p> <p>事務棟屋根の掃除・遺跡内草刈り</p> <p>展示室棟屋根修繕(市費・4月24日～)</p> <p>保護棟北面の窓ガラス8枚に低反射フィルム貼付(4月30日)</p> <p>緑のカーテン作成準備</p> <p>遺跡内草刈り、枝打ち</p> <p>北川悠仁氏来館(1日)</p> <p>磯子区キャラクターいそっぴ来館(5日)</p> <p>9日夜、施設内に侵入者あり、磯子警察に被害届提出(10日)</p> <p>5月18日までの震災募金額8,086円</p>

三殿台考古館施設入場者の推移

項 目	4 月	5 月
横浜市三殿台考古館（人）	3, 0 2 5	2, 0 5 5

# 収益事業

財団の自主性・自立性を高めるため、収益事業を実施しました。

歴史博物館、開港資料館、都市発展記念館、ユーラシア文化館の各施設へ来館されるお客様により快適にお過ごしいただけるよう、ミュージアムショップの経営、自動販売機の設置などの事業を行いました。

## **1 歴史博物館収益事業**

(1) ミュージアムショップの経営

- ① 勾玉キット、火打石、絵葉書、ミニタオル、企画展図録等を販売した。
- ② 企画展・イベントにあわせた商品揃えをした。

(2) 来館者駐車場の経営

(3) 自動販売機（5台）の設置

## **2 開港資料館収益事業**

(1) ミュージアムショップの経営

絵葉書、バンダナ、ミニタオル、関連書籍等を販売した。

(2) 自動販売機（1台）の設置

(3) 喫茶室の委託

来館者サービスとして附属棟において、喫茶室の営業を実施した。

店名：Au jardin de Perry（ペリーの庭で）

## **3 都市発展記念館・ユーラシア文化館収益事業**

(1) ミュージアムショップの経営

① 絵葉書、メモ帳、企画展図録等を販売した。

② 各企画展、フランス月間等に合わせ、商品のラインナップを大幅に変え、ショップの「目新しさ」を保つよう努めた。

(2) 自動販売機（1台）の設置